

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		-	-
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・春の旅行シーズンを迎えるので期待している。気は早いがゴールデンウィークの10連休はどのようになるか予測もつかない。消費はそれほど多くはないが、学生の卒業旅行も毎年順調に推移している。
		スーパー（店長）	・国体は終わったが、北陸新幹線開業が近づいており、景気は良くなるとみている。
		スーパー（店長）	・冬物から春物へとシフトしていくなかで、客単価を上げることができれば売上が改善できると考える。ただ、来客数次第ではまだまだ油断はできない。
		衣料品専門店（店舗運営）	・冬物への関心が低い分、春夏商材の活発な動きが見込める。
		家電量販店（店長）	・前年の猛暑の記憶もあり、早期にエアコンを購入する人が多いと考える。
		家電量販店（店長）	・消費税の引上げに対して意識が高まってきたようで、消費税の引上げの秋までに買換えを検討している客の下見が増えてきている。
		乗用車販売店（従業員）	・大きなイベントなども控えており、期待はしている。
		一般レストラン（統括）	・平成最後のイベントやゴールデンウィークの10連休、円安株高傾向など、今年の春は何かと人が動き、消費が活発になり、外食する機会が増えることを期待している。
		旅行代理店（支店長）	・販売量の増加を見込んでいる。
		タクシー運転手	・新年度に入り人々が活発に行動することから、期待できる。
		通信会社（営業担当）	・今後2～3か月先の景気は、新入学の時期を迎えるにあたり例年販売量が増加し、期待がもてる。
		通信会社（役員）	・新BS4K放送への関心が今後更に拡大していくとみており、簡易な視聴ツールである当社や当業界のサービスの契約が今後とも増えていくことを期待している。
		通信会社（営業担当）	・このまま学生需要が4月くらいまでは続くとみており、例年どおりだと販売数も伸びてくる。
		通信会社（役員）	・主に通信サービスの商戦期を迎えるため、契約数の増加がある程度期待できる。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げの影響で駆け込み需要が増えている。
		住宅販売会社（従業員）	・今年10月予定の消費税の引上げによる駆け込み需要とみられるが、展示場の来場者数や会社に問合せの客が増加したため、良くなるとみている。
		商店街（代表者）	・消費税の引上げ後の救済策が複雑化してきている。消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているが、盛り上がりには欠ける展開になりそうである。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・過去3か月間、ほぼ前年並みで推移していることから、この先もずっとそのまま行くのではないかと。肉のブームということで少しずつ上がってきていたが、それがどこまで続くのかが問題であると考えている。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・官公庁の需要期と働き方改革に関連する案件はあるが、短期的な見込みが少なく、余り期待できない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新学期セールをピークを迎えるが、紙関係ほかいろいろな商材で値上がりがあり良くはならず、現状と変わらないと考える。
		百貨店（売場主任）	・紳士及び婦人アパレルの低迷は春以降も続くと考える。
		百貨店（販売促進担当）	・新たな年を迎え、平成最後のお祝いムードが高まるなか、消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているが、全体的に慎重な動きである。消費税の引上げや少子高齢化など将来への不安が払拭されず、先行きは全く不透明である。
		百貨店（営業企画）	・前年に比べ降雪の影響は少なかったが、前月のボーナスやクリスマス商戦、今月のクリアランスセールと盛り上がりには欠けていたため、今後この状況が好転へと向かうことはなかなか難しい。

スーパー（総務担当）	・募集しても申込みがなく人手不足の状況は続いているものの、売上に大きな変動要素はなく景気も変わらないとみている。
スーパー（店舗管理）	・現状では客足は上がっているが、春物商材に変わったとしても、購買動機が上がるとは見込めない。
スーパー（統括）	・消費税の引上げや、ゴールデンウィークの10連休に向け、食費の節約志向は高まるとみている。
コンビニ（店舗管理）	・好転材料が見当たらない。
家電量販店（本部）	・消費税の引上げによる需要を期待したい一方で、暖冬に伴い暖房器具の販売が低迷している。
乗用車販売店（経営者）	・業界他社との集まりでも、全体としての販売量は余り増えていない状況が続いている。
自動車備品販売店（役員）	・今年は春タイヤ商戦が早まる予想が出ており、消費税の引上げ前の買換え交換を強く訴求しているが反応は低く、駆け込み需要は期待できない。
住関連専門店（役員）	・消費税の引上げを前に積極的な消費を期待したり、様々な仕掛けで動きを作りたいが、選挙なども控えて税率改正がはっきりしないことや、4度目の消費税の引上げで消費者の買い方に大きな変化も想定されることが懸念材料として残る。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・景気が良くなる傾向は全くみえない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・専門店の入替え時期となるため一概に比較しづらいが、衣料品売上の下げ止まりがこのまま続けば、現状維持が続くと考える。
高級レストラン（スタッフ）	・30名を超える送別会や歓迎会の受注に関しては例年並みで推移している。
一般レストラン（店長）	・経済環境を考えると不安もあるが、前年からの流れでは変わらないとみている。
スナック（経営者）	・先々春には選挙があり、国内外的にも問題ありで、来店を控えている感じもする。
観光型旅館（経営者）	・2月の先行予約は悪かったが、1月中旬以降は予約が伸びている。2～3月と順調に売上を伸ばせると見込んでいる。
都市型ホテル（スタッフ）	・客は価格に敏感で値上げができない。加えて4月から宿泊税が導入され、10月からは消費税の引上げがあり、客の動きにマイナス要因しかなく、厳しい環境が続くと考える。
都市型ホテル（役員）	・前年は豪雪により、全館非常に厳しい状況にあったが、今期は宴会部門において新年会や慶事などにより改善傾向にある。ただ、レストラン部門は足元が良い割に思ったほど来客数が伸びていない。今後の景気動向は変わらないと考える。
旅行代理店（所長）	・ゴールデンウィークの10連休や春休みの問合せに関して、さほど動きがない。
タクシー運転手	・夜の繁華街はそれほど忙しくないが、まずまずの需要が出ている。
競輪場（職員）	・売上などはほとんど変わりにくく推移しているとみられ、例年並みと考える。
その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・2～3月は雪の影響を受けるが、体験獲得に力を入れていけば、現状維持だけはできそうである。
美容室（経営者）	・国内外共に不安定な要素が満杯であるが、少なくとも消費税の引上げまではこのまま推移していく。
住宅販売会社（従業員）	・ユーザーは一定数いるので、コンスタントに契約が進めば例年以上の年間売上は達成できる状況にある。ただし、消費税の引上げ後の方がトータルとして支払額が少なくなる人も出てくる可能性があるため、まだ確実に売上が増えるかどうかは何ともいえない状況である。
百貨店（一般顧客訪問担当）	・消費税の引上げを見据え、将来の先行き不安もあり消費は鈍化すると考える。
スーパー（総務担当）	・今年3～4月にアイスクリームと牛乳の値上げが予定されている。どちらの商品も食品スーパーでは売上構成が高い商品のため、売上減も見込んでいる。

	コンビニ（経営者）	・現状、売上は維持できているが内容が余り良くなく、食系やファーストフードなどコンビニ商材で一番主力のものが前年を割っている。辛うじて雑誌やたばこで売上を維持しているような状態である。この傾向はしばらく続いており、状態としては余り良くなく、今後は利益等が良くなっていくのではと考えている。	
	コンビニ（エリア担当）	・一部値上げ商品や今後の消費税の引上げへの不安感がある。	
	衣料品専門店（経営者）	・客のファッション衣料に対する関心が低く、また、人手不足もあって現場は大変苦戦している。	
	通信会社（職員）	・規制緩和による競争激化を見込んでいる。	
	住宅販売会社（営業）	・消費税の引上げに対する支援策が、思いの外、手厚いものとなったため、消費税の引上げ前の買い控えが起こっているように感じる。	
	観光型旅館（スタッフ）	・前年比で予約保有は、1月が83%、2月が66%、3月が91%と悪化している。前年は大型の団体受注が同期間にあったが、今期はその分をカバーしきれしていない。	
企業 動向 関連 (北陸)	-	-	
	一般機械器具製造業（総務担当）	・国内に関しては、ものづくり補助金の効果があり、受注は伸びると見込んでいる。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・国内の設備投資を背景に、産業機械用部品などの受注が堅調に推移している。	
	精密機械器具製造業（役員）	・生産受注に関してはここ数年にないくらい込み合ってきている状況で、一部、生産キャパシティの不足で遅れが生じているものも出てきている。	
	建設業（経営者）	・年度末に向けて、工事がかなり多く発注されるだろうと見込んでいる。	
	輸送業（総務担当）	・一部には、客からの値上げ要請に伴う価格転嫁に苦慮しているとの声がある。働き方改革に対応できないとの声が強くなるものの、足元の受注状況などから短期的にはやや良くなると思う。	
	不動産業（経営者）	・法人客も個人客も、2か月ほど先の間合せが少しあるという情報が見受けられる。	
	司法書士	・現在、相談を受けたり進めている案件でも高額の取引や事業資産の購入が多い。	
	税理士（所長）	・今の状況から良くなると予想している経営者は少ない。むしろ悲観的な気持ちが強いのだが、何とか変わらぬというのが取引先の経営者の希望に近い。経営者からの意見としては、人手不足で生産量を増やす自信がないというところが一番大きく、経営者がネガティブになっていることが気になるところである。	
	食料品製造業（経営企画）	・必要な労働力が確保できない状況は変わらない上、原材料価格の上昇も予測されており、収益を圧迫する要因ばかりが重なってきている。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	・足元の当面の見通しは引き続き堅調と考えるが、通商問題や海外情勢の不透明感が懸念材料となるおそれがある。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	・現在の受注残の状況と、今の景況感を警戒して、新規製品の発注が先延ばし傾向にある。	
	建設業（役員）	・受注動向についてもピークは過ぎた感じである。	
	通信業（営業）	・どの商材も受注件数が減少に転じ始めている。一時的なもので大幅な落ち込みはないとみるが少し気掛かりである。	
	金融業（融資担当）	・原油価格が落ち着いているが、人手不足で物流費が上昇している。	
	金融業（融資担当）	・工作機械メーカーなどの輸出企業からは、米中貿易摩擦の影響が少しずつ出てきていると報告を受けており、今後更に影響が広がる可能性が出てきている。また、内需企業からは、運賃や人件費上昇分の価格転嫁を進める旨の報告も多数あり、消費を冷やす可能性もある。	
	×	金属製品製造業（経営者）	・当社の客が、取引先から注文をキャンセルされている。
	×	新聞販売店〔広告〕（従業員）	・繁忙期の12月ほどではないが、1月も前年同月比を下回っている。紙の値段の高騰が、ここ最近の落ち込みの一因になっているのは否めない。
雇用 関連 (北陸)	-	-	
	新聞社〔求人広告〕（営業）	・改元や皇太子殿下の御即位で慶祝な雰囲気が高まり、消費が活性化することを期待している。	

(北陸)	人材派遣会社（役員）	・人材の募集をかけても適材者が集まらず、マッチングに苦労している。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の話がない。
	新聞社 [求人広告]（担当者）	・消費税の引上げや世界情勢への不安がまだ直接の影響は出ていないが、その先は分からない。
	職業安定所（職員）	・一時期の求人申込みの勢いからは多少弱含みの印象を受けている。しかし、2～3か月前の新規求人数の動きを点検したところ、前年の求人の申込みの時期とずれているというタイミング的な要素も見受けられることから、将来の景気については、現状ではそれほど大きく変わらないのではないかと考える。
	民間職業紹介機関（経営者）	・中小建設業界によると、人手不足が常態化して、納期に間に合わない急ぎの発注は断っていると聞いている。製造業でもなるべく納期に余裕をもらうよう、営業しているとのことである。
	学校 [大学]（就職担当）	・求人に関しては売手市場が続くと考えるが、企業にとっても人手不足が続くので、生産性の面で景気の拡大に結び付くかは疑問である。
		-
x	-	-